

# 30年度 12月 園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

H30. 11. 30 文京区立本駒込幼稚園



## 表現する楽しさ ～自分らしく、自信をもって～



園長 原田幸子

早いもので今年も残すところ1か月となりましたが、この季節にしては暖かい日が多く、園庭のイチョウやモミジの葉はゆっくりゆっくり紅葉しています。果たして、きれいな黄色や赤い葉は見られるでしょうか。それでも、朝の受け入れ時に正門に立つと、羽織るものなしにはいられなくなりました。私は、正門で子どもたちや保護者の皆様と「おはようございます」と、挨拶を交わすこのひと時が大好きです。元気に響く挨拶の声、明るい笑顔などからたくさんのエネルギーをもらいます。1学期には、もじもじしたり、さっと走り抜けてしまったりする姿も見られましたが、最近では、きちんと目を見て挨拶したり、お辞儀をしたりできる子どもが増えてきました。短い場面ながら、毎日、子どもたちの成長が感じられ、全クラスの園児と挨拶ができる幸せを感じます。さらに、保護者の皆さんは、明るく丁寧に挨拶してくださり、本当に素敵です。

私は、幼少期、かなりの人見知りで、小学校3年生までは、授業で1回も手を挙げて発言したことがありませんでした。幼稚園の誕生会では、「大きくなったら何になりたいですか?」という質問に答えられず、長い間が過ぎてしまったことを今でも思い出します。ですから、大人に声をかけられても、うつむいてしまったり、顔をこわばらせて固まったりしてしまう子どもの気持ちがよく分かります。自分の思いを上手く表現できない私でしたが、家族に見守られ、先生、友達、先輩、後輩などの様々な人との出会いや関りを経て、今ではこのような人前に立つ職業に就いています。人生の長さ、不思議さをつくづく感じます。

いよいよ明日は、年中組、年長組の発表会です。のびのびと自分らしさを発揮できるようになってきたこの時期に、劇や歌、合奏などの表現活動を楽しみ、自信を高めることはとても大切です。本園の教育目標の一つ「豊かに感じる子ども」は、「人や自然との関りを通して様々な感情を味わい、素直に表現したり、思いやりをもって共に生活したりする子ども」を目標にしています。これまで、遊びや学級活動の中で、役になりきって自分なりに表現したり、友達と気持ちを合わせて表現したりする経験を積み重ねてきました。発表会では、初めて舞台に立つ年中組は、うれしさや恥ずかしさを感じ、お客さんの視線を意識できるようになった年長組は、緊張感や達成感を味わうことでしょう。お家の方には、当日の出来栄だけでなく、これまで子どもたちが経験してきたことにも思いを巡らせて、よかったところやがんばったところを、どうかたくさんほめていただきたいと思います。

長い人生のスタート地点から一歩踏み出したばかりの子どもたちが、「楽しかった」「がんばった」「自分はすごい!」と感じられる経験がたくさんできるよう、幼稚園と家庭で力を合わせて行きましょう。

なりきって遊ぶ



どきどきりハール



衣装の工夫を発表

